

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468  
 電子メールアドレス jimutyo@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>  
 編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



## 透き通る清流「阿多古川」!!

阿多古川は、浜松市天竜区を流れる天竜川水系の一級河川です。「平成の名水百選」にも選ばれる清流は、透き通るようにキレイで流れも穏やか。川遊びはもちろん、自然を満喫しながらBBQなども楽しめる、地元では有名なスポットです。

## CONTENTS

特集 徳川家康ゆかりの天竜区の文化財	2
協会ニュース／ちょっとおすすめグルメ	4
建設ギャラリー／かんとくさん／最近のキーワード	5
マイファミリー／コーヒーブレイク	6

特集

徳川家康ゆかりの天竜区の文化財

天竜区役所まちづくり推進課

永禄十一年（一五六八）十二月の侵攻以来、約二十年にわたって遠州を拠点に活動した徳川家康。

NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて、天竜区内に残されている徳川家康ゆかりの文化財を紹介します。

二俣城跡及び鳥羽山城跡

〔国指定史跡〕天竜区二俣町二俣

二俣城、鳥羽山城とも、天竜川と旧二俣川に囲まれた天然の要害に築かれており、今川、徳川、武田、豊臣といった名だたる大名がその領有にかかわりました。元



二俣城跡



鳥羽山城跡

亀三年（天正三年（一五七二）一五七五）に、二俣城をめぐり徳川氏と武田氏の攻防戦が繰り広げられた際は、鳥羽山に徳川方の本陣が置かれたとされます。天正七年（一五七九）には徳川家康の嫡男、松平信康が二俣城で自刃する事件も起こっています。両城の特徴として、二俣城は、深い堀や天守が備えられるなど要塞化が進められたことに対して、鳥羽山城は開放的な大手道や庭園があるなど居館的な性格が強められています。両城は、互いに機能を補完する「別城一郭」と呼ばれる城です。

犬居城跡

〔県指定史跡〕天竜区春野町堀之内

春野地域一帯を支配した国衆天野氏の本拠です。戦国時代の天野氏は、当初今川氏の配下にありましたが、徳川家康の遠江進出後は徳川氏、その後は武田氏に従いました。長篠の戦い後、徳川氏の攻撃を受け城は落城、天野氏による支配は終焉を迎えました。城内には、曲輪のほか、堀切や土橋の遺構が良好な状態で残っています。



犬居城 復元模型（春野歴史民俗資料館蔵）

高根城跡

〔市指定史跡〕天竜区水窪町地頭方



高根城跡（水窪の町を一望できる）

遠江最北端に位置する国衆奥山氏の山城。戦国時代、今川氏・徳川氏・武田氏のどこに味方するかで奥山氏内部で分裂がおき、元亀三年（一五七二）の武田信玄の遠江侵攻時には、武田方の城として青崩峠越えの警備を任せられました。徳川軍によって武田軍が遠江から退けられると、高根城は廃城となりました。発掘調査の成果に基づき、城内の門や井楼櫓等の建物が復元されており、戦国時代の山城の復元事例として注目される城です。



**旧田代家住宅**※1  
〔国登録有形文化財〕天竜区二俣町鹿島  
田代家は、江戸時代に北鹿嶋村の名主と渡船場船越頭を務める一方、天竜川筏の受け継ぎ問屋も経営していた旧家です。鹿嶋拾分一番所（幕府が天竜川を上下する舟・筏の貨物に十分の一の税を課した役所）の役人や請負もしていました。徳川家康の遠州経略に協力した功績で、天竜川の筏川下げと諸役免除の特権を与えられたことを機に天竜川の筏問屋経営が始まりました。舟運による繁栄を伝える主屋等が国登録有形文化財になっています。



**大久保彦左衛門書状**（田代家文書）  
〔市指定文化財〕内山真龍資料館蔵※2

「三河物語」の作者としても知られる大久保彦左衛門こと忠教が若い頃に鹿嶋権ヶ脇神社に対して行った非礼について詫げた書状。



**徳川家康朱印状**（田代家文書）  
〔市指定文化財〕内山真龍資料館蔵※2

田代家に伝わる古文書のひとつで家康が諸役免除と筏流しの特権を与えた朱印状。家康が浜松にいた天正8年（1580）のもの。



**清瀧寺寺領絵図**（米山家文書）  
〔浜松地域遺産〕内山真龍資料館蔵※2

二俣村の名主を務めた米山家が旧蔵していたこの絵図は、中泉代官の窪嶋市郎兵衛在任当時（元禄十五年〜正徳二年（一七〇二〜一七一二））に描かれたと考えられる、清瀧寺を中心とした二俣村の絵図です。清瀧寺の大小伽藍が当時の規模をしのばせ、信康の御廟、その左山裾に三郎（信康）様御火葬場が記されています。  
参考…『天竜市史 史料編三』

**光明勝栗**

〔浜松地域遺産〕天竜区山東  
天正年中、甲斐武田軍と徳川家康軍が光明山中辺りで対峙しました。その時山東村の百姓青島平太夫、只来村鈴木三郎右衛門等は家康に栗を献上し、喜んだ家康はこれを「光明勝栗」と名付け、彼らに名字帯刀を許したと伝えられています。以後、山東・只来両村は江戸時代を通じて毎年江戸城に勝栗を献上することを例としました。

参考…『静岡県天竜市山東宮沢家所蔵 近世古文書史料集』解説

※1

**田代家住宅のご案内**

- 開館日 土、日、祝日  
（12〜2月は日、祝日のみ開館）
- 開館時間 午前10時〜午後4時
- 観覧料 無料

※2

- 各史料は、内山真龍資料館展示の際にご覧いただくことができます。
- 内山真龍資料館のご案内**
- 休館日 月・火、祝日、年末年始  
（その他展示替等による休館あり）
  - 開館時間 午前9時〜午後5時
  - 観覧料 常設展 無料  
特別展 有料
- （料金はその都度設定）

# 協会ニュース

## 令和4年度臨時総会を開催

令和5年3月22日臨時総会を開催しました。

長谷川会長は挨拶の中で、「昨年の災害の際には、会員の皆様の協力により早期に応急復旧対応が行われ、行政機関からも感謝状をいただいた。これから補正予算や当初予算による工事も出てくるが、働き方改革も念頭に、工事が平準化されるよう働きかけていきたい。また、盛土規制法による規制強化や物価高、人手不足、時間外勤務規制など地域建設業が抱える課題も多いが、協会として解決に取り組むことで、地域の安全・安心に繋げていきたい。」と話しました。



長谷川会長

議事に入り、会員の加入が審議され、4月1日より伊藤建設(株)、水本建設(有)、(有)福山建設の3社(いずれも佐久間地区)が新たに会員として加わることとなりました。このほか、

令和5年度の事業計画案、収支予算案及び会費案が審議され、いずれも可決されました。

また、昭和33年の入会以来、65年の長きに亘り協会の運営にご尽力いただいた大石建設(株)が3月31日をもって退会することが報告されました。

## 浜松土木事務所から

### 感謝状受贈

昨年9月の台風15号による豪雨で、天竜区各地に甚大な被害が発生しました。「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づく出動要請を受け、各地で会員による応急対応工事が行われました。

これに対して、2月27日、静岡県浜松土木事務所長から協会に感謝状が贈呈されました。



感謝状贈呈式

ちよっと



## ◆ふじや食堂◆

森吉組(株) 吉田 巧



浜松市天竜区春野町気田の商店街に昭和の雰囲気を感じさせるふじや食堂があります。昭和30年頃からの創業で、平成29年に先代から今の店主が伝統の味を引き継ぎました。お店に一步入ると爽やかな笑顔で出迎えてくれます。

私のおすすめは、モツ・精肉・ラーメンです。モツは、自家製味噌による下味が絶妙で、脂がのっけていて柔らかく冷えたビールとの相性は最高です。お持ち帰りもできます。精肉は、豚肉に玉ねぎ、ピーマン、キャベツを自家製味噌とにんにくを絡めて焼いていきます。味噌ダレとにんにくが野菜とお肉に染み込み、

口いっぱい広がる甘みと程良いしよっぱさが病みつきになります。ビールにもご飯にも合います。ラーメンは呑み過ぎてしまいます。ラーメンは鶏ガラなどで出汁をとっており、昔ながらの醤油ラーメンで、あっさりとしつつ深みを感じます。食事でも縮めのラーメンとしても最高です。この他にも、冷奴、油揚げ、ポテトフライ、枝豆、黒はんぺんなど、居酒屋メニューも充実していますし、チャーハン、かつ丼、親子丼、カレーなど、お食事としても大満足です。春野町にお越しの際にはぜひ立ち寄ってみてください。

住所 浜松市天竜区春野町気田914  
電話 053-989-0068  
定休日 水曜日  
営業時間 昼 11時30分~14時  
夜 16時30分~22時

# 建設ギャラリー

**工事名称** 鎌ナギ地区復旧治山工事  
**工事箇所** 浜松市天竜区水窪町地頭方  
 地頭方国有林797い林小班  
**工期** 令和4年6月23日～令和4年12月28日  
**発注者** 天竜森林管理署  
**施工業者** 有限会社 飯島建設  
**工事概要** 簡易法砕工 (2,000 m<sup>3</sup>)  
 特殊モルタル吹付工 (B) (1,950 m<sup>3</sup>)  
 モルタル吹付工 (100 m<sup>3</sup>)



施工前

当現場は水窪町内から車で1時間程かかり、ガードレールもない未舗装の道路を走り、落石などに合いながら通勤しました。

冬期は積雪・路面凍結で資材の搬入が大変でした。



完成



後とも、よろしくお願ひいたします。

まだまだ経験不足であり、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思ひますが今後とも、よろしくお願ひいたします。

令和4年4月から佐久間土木工事グループ配属となり、業務としては佐久間地区内の道路維持を担当しております。西区雄踏町の生まれであり、佐久間に配属になるまでは、天竜区自体もあまり訪れることがありませんでした。現在は、水窪の市有住宅に住んでおり、天竜の豊かな自然や降雪等今まで全く知らなかった浜松市を体感し、貴重な経験をさせて頂いております。

土木部に配属になる前は、公園管理の部署であったため、災害や道路に関する業務を経験したことはありませんでしたが、実際に業務を行う事により、改めて道路、河川等インフラ設備の大切さを感じております。また、建設業者の方々には、日常管理や通行規制の対応、災害復旧対応等、迅速に動いて頂き、大変ありがたく思っております。



浜松市土木部  
 天竜土木整備事務所  
 佐久間土木工事グループ

豊田 貴紀

かんとくさん

## 最近のキーワード 「コロナ後の建設業」

季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行した新型コロナ。混迷を続けた長いトンネルからようやく脱した感が漂う。「マスクが取れてやれやれ」—こんな声が多く聞かれる。

これまでの再流行を繰り返した記憶は未だ生々しく残っているものの、社会は確実に前に進みつつある。今春卒業の大学生・大学院生対象の求人倍率は、4年ぶりに回復基調に転じた。コロナ禍ではエッセンシャルワークとして存在感を高め、一時的には雇用の受け皿として機能してきた建設業も、今後は再び活況を取り戻しつつある他産業と人材獲得競争にさらされるかもしれない。

人手不足問題のみならず、資材価格の歴史的な上昇をはじめ「コロナ後」の経営課題は徐々に顕在化してきている。罰則付き上限規制適用まで1年を切った働き方改革や今夏に返済期限のピークを迎える無利子・無担保融資など、これまで積み残してきた課題・宿題に改めて向かい合わなくてはならない。

かつては全国屈指の観光客動員を誇った浜松まつりで、4年ぶりに凧と練りが復活した。元に戻ることはないコロナ禍を経て、新たなフェーズが始まった。



(株)竜栄組

森口 淳

我が家のねこさん達です。記録を紐解いてみましたら、2012年に我が家に来てくれました。生まれて直ぐに我が家に来てくれたので、今年で11年共に過ごしてくれています。人間年齢に換算すると今年60歳なんだそうです。知らない間に私の年齢を越されてしまいました。

この子達は、とある日段ボールに入れられて会社事務所の前に置き去りにされていた子達でした。左のねこは当時鳴く体力も残っておらず、保護した時には危ない状態だったと思いますが、右側のねこさんが必死に鳴き続けてくれたおかげで出会う事が出来ました。

生まれて間もなくだったので、人を警戒することなくすんなりと家族になれたのですが、二匹ともオスねこなので、以来ずっと私には近寄ってきてはくれませんが、寂しくはありますが、妻をはじめ娘たちが代わるがわる構ってくれているので、彼らは悠々自適な生活を送ってくれているのだと思います。毎回二匹のどちらが兄なのか、というのが定番の議題ですが、真相は未だわかりません。



上阿多古郵便局  
太田 結花

こんにちは。上阿多古郵便局に勤務している太田結花です。入社して3年目となります。

上阿多古郵便局に異動して、1年になりました。ご来局されるお客さまはとても優しく、温かい声をかけてくださるので、毎日楽しく仕事ができています。

日々、多くのことを学ばせていただき、入社当初より仕事のできる幅が広がってきました。ですが、まだまだ知識不足なことが多いので、もっとお客さまのお役に立てるような情報をお伝えして、ご満足いただけるよう努めていきたいと思っております。そして地域の皆さまに頼っていただける郵便員をめざしていきます。

上阿多古郵便局では、マスク越しでも伝わる笑顔を中心に、お客さまに寄り添ったご案内をさせていただいております。

何かありましたら、何でもご相談ください。ご来局お待ちしております。



### 国が作った退職金制度、建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

- 加入できる事業主  
建設業を営む事業主
- 対象となる労働者  
建設業の現場で働く方
- 掛金は  
一日 320円

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援  
(国の助成により掛金の一部が免除)

- 特長 ◎掛金は全額非課税  
(損金または必要経費に算入できます)
- ◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単



建退共静岡県支部

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階  
TEL 054-255-6846

建退共本部のホームページを  
ぜひ、ごらん下さい

建退共

検索